

小児



コーナー

あじま診療所 所長
小児科
森 英一

子どもの 「誤飲」事故防止



これまでも何度か「子どもの事故防止」について書いてきましたが、病気も予防が大切ですが、事故は予防が第一です。子どもたちの発達や行動パターンを良く知って、年齢にあった適確な対応をすることで、大部分の事故は防止できるといわれています。

今回は「誤飲」についてです。年齢による差はありますが多いのは、小さなおもちゃ（直径32mm以上あれば赤ちゃんの口には入りません）や、ボタン電池、タバコ、洗剤や化粧品、医薬品などです。予防としては、子どもの手の届く所に置かないのが基本ですが、ニコチンは水に溶けると危険なのでジュースの缶を灰皿がわりにしたり、薬をお菓子の空き缶等に保存するのはやめましょう。

子どもの目線で家の中を見直してみ、事故を未然に防ぐようにしましょう。

